

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【公開番号】特開 2001-269317 (P2001-269317A)
 【公開日】平成 13 年 10 月 2 日 (2001.10.2)
 【出願番号】特願 2000-86475 (P2000-86475)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 3/10
 A 6 1 B 3/09
 A 6 1 B 19/00
 A 6 1 F 9/007
 G 0 6 T 1/00

【F I】

A 6 1 B 3/10 Z
 A 6 1 B 3/09
 A 6 1 B 19/00 5 0 2
 A 6 1 B 19/00 5 0 8
 G 0 6 T 1/00 2 9 0 Z
 A 6 1 B 3/10 M
 A 6 1 B 3/10 H
 A 6 1 B 3/10 W
 A 6 1 F 9/00 5 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 1 日 (2004.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼を 2 次元的に測定する第 1 測定手段により得られた第 1 測定データを入力する第 1 入力手段と、被検眼を 2 次元的に測定する第 2 測定手段により得られた第 2 測定データを入力する第 2 入力手段と、前記第 1 測定手段及び前記第 2 測定手段の各測定時に得られた前眼部を含む撮像画像に基づいて前記第 1 測定データ及び前記第 2 測定データを位置合わせするデータ位置合わせ手段と、を備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項 2】

請求項 1 の眼科装置は、さらに位置合わせした前記第 1 及び第 2 測定データから新たなデータを演算する演算手段と、該演算結果を図形表示する表示手段又は該演算結果を外部装置に出力する出力手段とを備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項 3】

請求項 1 の眼科装置は、さらに位置合わせした前記第 1 及び第 2 測定データを共通の表示基準の下にそれぞれ図形表示する表示手段を含むことを特徴とする眼科装置。

【請求項 4】

請求項 1 の眼科装置において、前記データ位置合わせ手段は測定時に撮像された前眼部像の共通の特異点に基づいて位置合わせすることを特徴とする眼科装置。

【請求項 5】

被検眼を 2 次元的に測定する第 1 測定手段により得られた第 1 測定データ及び測定時のア

ライメントずれを入力する第1入力手段と、被検眼を2次元的に測定する第2測定手段とにより得られた第2測定データ及び測定時のアライメントずれを入力する第2入力手段と、前記第1測定手段及び前記第1測定手段の各測定時に得られた前眼部を含む撮像画像に基づいて回転ずれを検出し前記第1測定データ及び前記第2測定データを位置合わせするデータ位置合わせ手段と、を備えることを特徴とする眼科装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 被検眼を2次元的に測定する第1測定手段により得られた第1測定データを入力する第1入力手段と、被検眼を2次元的に測定する第2測定手段により得られた第2測定データを入力する第2入力手段と、前記第1測定手段及び前記第1測定手段の各測定時に得られた前眼部を含む撮像画像に基づいて前記第1測定データ及び前記第2測定データを位置合わせするデータ位置合わせ手段と、を備えることを特徴とする。

(2) (1)の眼科装置は、さらに位置合わせした前記第1及び第2測定データから新たなデータを演算する演算手段と、該演算結果を図形表示する表示手段又は該演算結果を外部装置に出力する出力手段とを備えることを特徴とする。

(3) 請求項1の眼科装置は、さらに位置合わせした前記第1及び第2測定データを共通の表示基準の下にそれぞれ図形表示する表示手段を含むことを特徴とする。

(4) (1)の眼科装置において、前記データ位置合わせ手段は測定時に撮像された前眼部像の共通の特異点に基づいて位置合わせすることを特徴とする。

(5) 被検眼を2次元的に測定する第1測定手段により得られた第1測定データ及び測定時のアライメントずれを入力する第1入力手段と、被検眼を2次元的に測定する第2測定手段とにより得られた第2測定データ及び測定時のアライメントずれを入力する第2入力手段と、前記第1測定手段及び前記第1測定手段の各測定時に得られた前眼部を含む撮像画像に基づいて回転ずれを検出し前記第1測定データ及び前記第2測定データを位置合わせするデータ位置合わせ手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】